

議 事 録

会 議 名	第7期第7回寒川町まちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和3年11月25日(木) 午後3時 ～ 午後4時20分		
開 催 場 所	自宅等、寒川町役場東分庁舎第1会議室（オンライン開催） 傍聴：分庁舎1階 電算会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>○出席委員 杉下会長, 落合副会長, 半澤委員, 安江委員, 上山委員 山下委員, 相田委員, 大久保委員, 高崎委員, 平本委員 菊地委員</p> <p>○欠席委員 大関委員, 金子委員, 竹森委員, 庭野委員, 井村委員</p> <p>○事務局 戸村町民部長, 岡野町民協働課長, 越原副主幹</p> <p>○傍聴者数 2名</p>		
議 題	<p>(1) 寒川町まちづくり懇談会（案）について</p> <p>(2) 各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップの作成について</p>		
決 定 事 項	<p>1 議事録承認委員：杉下会長, 菊地委員</p> <p>2 まちづくり懇談会（案） ・ブレイクアウトルームを設けるか。設けた場合、ファシリテーターを誰がするのか。テーマは1つに絞るのか。町民以外の参加も認めるのか。 →会長と事務局で検討する。 ・アンケートの質問内容の修正・追加をする。</p> <p>3 次回会議の審議事項 ・まちづくり懇談会反省点及び報告書案</p> <p>4 次回会議は、2月24日(木)午後3時からに決定。</p>		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合 その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 新任委員自己紹介</p>		

4 議事録承認委員の選出

【事務局】まちづくり推進会議では、当日の出席委員のうち、名簿の上から順に持ち回りで議事録承認委員を指名しております。前は、12番庭野委員、13番平本委員を指名しておりましたので、今回は14番井村委員、15番杉下委員を指名したいと思います。井村委員は本日欠席のため、15番杉下委員と16番菊地委員にお願いいたします。異議はございませんでしょうか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【事務局】それでは、杉下委員、菊地委員、御承諾いただけますでしょうか。

(杉下委員、菊地委員「異議なし」の意思表示あり)

【事務局】ありがとうございます。それでは、本日の会議の議事録承認委員は、杉下委員と菊地委員といたします。では、以降の議事進行につきまして、杉下会長にお願いいたします。

【杉下会長】それでは、早速議題1につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

5 議題

(1) 寒川町まちづくり懇談会(案)について(資料1~3)

【事務局】-資料1~3に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。事務局より、資料1から資料3を一括して御説明いただきました。これについて、何か御質問、御意見等がございましたら挙手にてよろしく願います。安江委員、願います。

【安江委員】説明ありがとうございます。今回のまちづくり懇談会についてブレイクアウトルームは入れないというお話がありました。理由をお聞きしたいです。というのは、今回は1人2分を持ち時間と書いてあり、1テーマ2分なので、おひとり4分しか話せない。そうすると、懇談会よりは、他の人の話を聞くとか、町長がお話されているのを聞くだけになってしまい、あまりインタラクティブに話ができないと感じました。ブレイクアウトルームを使い、5人だったら5人で3チームくらい作り、話し合ってもらいたい。親和するのが目的ではないですが、深掘した話し合いが全体でできるかと思えます。持ち時間2分というのも厳しいと思うので、本当に2テーマで進めるのかも含めて、会長さんと話していただいたと思うので、その考えをお教えいただきたいです。

【杉下会長】事務局の方から、よろしいですか。

【事務局】 ブレイクアウトルームについて、15人が集まったと仮定して、1人2分の発言時間と計算をしたのですが、現在4人の応募で、15人が集まるかどうかわかりません。もし15人フルで集まりブレイクアウトルームを設け、5・5・5に分けた場合、その先で誰にまとめてもらうのかを考える必要があります。そのため、今回はあえてブレイクアウトルームは設けず、次回以降に検討するとの話を会長とさせていただきました。テーマについて、当初予定していた3テーマは時間的に難しいとのことから、1つか2つに絞ることとなりました。テーマ1は参加された方のアンケートで一番要望があった項目だったためテーマに設定しました、もう一つが、「私と町ができること」の協働に関するテーマでしたが、取り組んでいる方いない方がいることから、移住定住・まちづくりの「住みたくない町寒川について」を残しました。残した2つのテーマについて、比較的どなたも御発言がしやすいかと思います。発言時間について、参加人数によって変動すると思います。うまい説明ができなかったかもしれませんが。

【安江委員】ありがとうございます。話しても大丈夫ですか。

【杉下会長】いいですよ。どうぞ。

【安江委員】人数の変更を気にしていると思うのですが、ブレイクアウトルームを設ければその枠ができると思う。例えば、12人になった場合は4人3チーム、8人になった場合は4人2チームなど。運営を考えても、1人2分が短くなるより設けた方が進行しやすいと思います。町の中でファシリテーションができる人がいないのでしょうか。ブレイクアウトルームに分かれた際、対応ができないとおっしゃっていましたが、どう対応ができないのでしょうか。

【杉下会長】私の方から答えます。事前の打合せの際、今回は従来とは違い、初めてのZoomでの試みということで、あれもこれもではなくZoomに慣れていただきたいと考えていました。安江委員のご意見にあった、ブレイクアウトルームのファシリテーターに関しましては事前にどのような方がいるか精査しておりませんでした。私も他の似たような会に参加した経験がありますが、ファシリテーターによってそれぞれの部屋の充実度が変わっていました。今回、限られた時間の中で誰がやるかについて詰め切れなかったところがあります。安江委員のおっしゃる、テーマを1つにして前段で全体の意見のやり取りをし、後段でブレイクアウトルームを設ける。最後に、もう一度全体が集合してそれぞれの報告をし、締めるというやり方もあると思います。他の委員の皆様からも、進め方について、2テーマにするのか、もしくはブレイクアウトルームを設けるの

か。設ける場合、もしかしたら推進会議の委員さんの中で適任者がいらっしやればファシリテーターを併せてお願いさせていただくかもしれません。安江委員、何かありますか。

【安江委員】おおむね承知しました。町としてZ o o mをうまく使っていくという姿勢は大事だと思うため、これを機にファシリテーター経験するのは良い機会だと思います。まだ実際にそのようなことをできていないのであれば、サポートが入りながらでもいいと思います。推進会議の人がサポートに入ってもいいですし、町役場が実際に試みていることがとても大事だと思うので、考慮していただければ。テーマについては、会長がおっしゃっていたとおり、皆さんの話も聞きながら、少しまとめるのかまとめないのか。時間も含めて決めていければいいかなと思います。ありがとうございます。

【杉下会長】非常に良い提案だと思います。私が言っただけではない言葉かもしれませんが、今回は初めてのZ o o m開催なので、ある意味失敗してもいいと思います。それを次の会議でしっかり検証して、次につなげるというところが、失敗を失敗で終わらせない、次に展開させる糧になるかと。事務局サイドで御説明や補足があればお願いいたします。

【事務局】これまで、集合型のまちづくり懇談会を経験してきたことから、そのイメージが強くあります。集合型開催の際、終了後に残られた方と事務局が立ち話をするところがありましたが、今回の場合、例えば15人だったら7人・8人や5人・5人・5人などの部屋に分けるのでしょうか。それとも丸々一つの部屋にしてしまっているのか、私もやったことがないため分かりませんでした。試みとしては、ぱっと思いつきませんが、町長が退席された後に残った方たち同士で雑談というイメージでしょうか。鎌倉の懇談会をYouTubeで拝見しましたが、そのような進め方があることは存じているので、今後検証を行っていく中でそのようなアイデアも入れていければと思います。ありがとうございます。

【杉下会長】ほかに、各委員さんから御意見や御質問がございましたらお願いいたします。菊地先生、宜しくお願いいたします。いろいろ経験されているかと思いますので。

【菊地委員】安江委員がおっしゃっていた疑問は私も思っていたのですが、初めての試みということで、それよりもやってみようということなのかなと思います。参加者はむしろZ o o mに慣れていて、投票機能を活用し無記名投票でその場でクイズをすることもできます。場合によっては、テーマについて全体会で説明した後に2つに分けて議論をし、また全体に戻してお互いの議論を共有することも可能です。とはいえ、運営側が慣れていないとなかなかスムーズにいかないこともあるかと思

ます。私は当日、所用で参加できないのですが、そういう意味で、発言を控えた方が良いのかなと思っておりました。おそらく、参加された方から、いろいろなやり方に関するアイデアがある気がしておりますので、それを積極的に取り入れていく形があれば良いと思っております。

【杉下会長】ありがとうございます。私も、このような懇談会的なものにいろいろ参加してみて、それぞれに分かれた後、事前に決められたファシリテーターに進行していただくと、進行がスムーズだったと感じました。どことは言わないですが、分かれた後にファシリテーターが決まっていなくて、参加者だけで「どうしましょう」「どうぞどうぞ」の様なくだりだけで2、3分が過ぎてしまい、話し合う時間が無くなってしまうこともありました。分かれる場合は「私がファシリテーターです。では、順番にお願いします」のようにちゃんと決まっていなくて。あとは、今回町長が参加されることがポイントの一つだと思います。他の懇談会では、町長が3分ごとに部屋を移動して参加されるという進め方もありました。この場合、後段のグループへ入ってしまうと前段のやり取りが分かりませんが、町長を含んでまた話し合えるというのも一つやり方としてあります。ほかに何か、各委員さんからブレイクアウトルームのやり方や、テーマについて今2つあるので、2つは正直私も厳しいかなと思うため、災害がいか、移住定住・まちづくりがいかなども併せて御意見があればお願いしたいと思います。上山委員、お願いします。

【上山委員】テーマの防災に関してはまだ資料がまとめられていないのか、どのような話の流れにしたいのかがわかりづらいです。自主防災組織を作ると言われている感じがする資料でした。もう一つの人口ビジョンの方は良くまとめられていて、テーマとしてもわかりやすく、議論しやすい材料がいっぱいあると思ったので、こちらの方が話しやすいかなと現状では思いました。

【杉下会長】ありがとうございます。ほかにご意見は。半澤委員お願いいたします。

【半澤委員】懇談会前の前段のテーマ説明資料の要点ということで、説明いただきました。現時点では参加希望者が4人ですが、例えば10人になった時点で、この資料を配って当日の資料の一つとして配布されるものなののでしょうか。資料の目的が知りたいです。

【杉下会長】事務局、お願いします。

【事務局】こちらの資料について、事務局とコーディネーターの手持資料にしようかと考えております。もちろん、前段でお

話しした資料1の1ページにある要点は、2つのテーマで5分程度、口頭で説明しようと思います。町のホームページにも載っている資料になるのですが、事前配布にしてしまうとこの資料にあることに縛られてしまう、とらわれてしまうのではないかと思い、手持資料の方向で考えております。特にテーマ2につきまして、広くお話していただきたいので、口頭での説明だけで、事前送付はしない考えです。

【杉下会長】半沢委員、お願いします。

【半沢委員】2つのテーマとも結構なデータがあり、今までもいろいろな町の意見が表現されていると思うのですが、懇談会を行った結果、ただ問題提起が増えるだけというのは避けた方がいいと思います。2テーマとも分析されているのであれば、対策を導き出す目的で、事前に参加者の方へ「これまではこのような流れですよ」と、それに対して「対策する方向の懇談会をお願いしたい」というようなことを伝えた方が、前進するのではないのでしょうか。幾つもの問題提起だけされても、懇談会の趣旨が、ここには書いていませんが、趣旨を明確にして対策の方に重点が置かれるような方向に持って行った方がいいのかなと。2番目の住みたくなる町寒川に、ある程度集約してもいいのではないかと思います。住みたくなるということは、当然災害に対しても住民にいいということなので、みんなそこに包括されるようなテーマだと思います。魅力があって住みたくなる町について、対策のところをもう少し、例えば若い人がなかなか来ないというのであれば、どうすれば若い人が集まるのかのような、そのような案をたくさんもらった方が実になると思います。

【杉下会長】ありがとうございます。半沢さんから『「高座」のころ。』ということで、町としても人口増等いろいろあるので、そのような点を踏まえていいと思います。菊地委員、手が挙がっておりますのでお願いいたします。

【菊地委員】半沢委員がおっしゃることはごもっともだと思ってお伺いしておりました。参加の意欲がある方との時間を有意義な時間にするためには、持っている情報格差を単に埋めるだけの時間として使われるのはもったいないと思います。おっしゃるとおり、自ら能動的に調べれば、出てくる情報であるが、ある意味事実確認のような形で終わってしまっただけでは、町が持っている情報と参加者の町の情報の格差が埋まって、参加者は満足でも町は単に情報を提供しただけになってしまう。お互いが持っている情報が同じであることを前提に議論を始めた方が、もしかしたら生産的な議論になるのかなと、半沢委員のお話を聞いて思いました。パワーポイントなどで要点として事前に配布して、当日はかいつまんで説明だけみたいな形でもいいと思います。2つ目のテーマについては、私自身も非常に面白い

テーマだなと思います。上山委員がおっしゃったとおり、将来の寒川町民になるかもしれない人、あるいはかつて寒川町民だった人の参加を考えてもいいと思います。このテーマはむしろそのような、外から寒川を客観的にみられる人が、寒川にいる人と一緒に議論できるのは、Zoomだからできることといえます。例えば、九州や北海道に住みながら、元寒川町民の人も参加できるということになります。規定上、できるかわかりませんが、2番目のテーマは広い意味での寒川のステークホルダーにも参加を促せると思います。仮にそのような人が参加しなかったとしても、門戸を広げていますよというメッセージになる気がします。1の災害というのは、やらなければいけない方向ということはみんながわかっていることで、どのようにやっていくかについて行き詰ってしまうので、具体的に前に進めていくという観点で議論しやすいテーマだと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。事務局、お願いいたします。

【事務局】どうもありがとうございました。委員の皆様の意見を聞いて思ったのですが、1の方は、住んでいる方が中心になるお話という気がします。話の方向性も、自治会加入率の向上などある程度決まっているのかなという気がしました。2の方は、今回の参加資格を在住・在勤・在学としましたが、元寒川町民の方など、それに制限されない方もお話しできるのかなと思いました。話の広がりがある分、どのような結論に行くのか、2の方はわかりにくいのかなという印象を受けました。今後参加者が何人になるかによって、また変わっていく気がします。人数が少なければ、2つのテーマで話すことができると思いますが、人数が多いと満遍なくお話しする時間がない気もします。そこら辺は、今後の参加人数がどうなるかも含め、会長と調整したいと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。一回ここまでの整理をします。冒頭、事務局からの御提案は2つのテーマで進めていきましょうという中で、安江委員からブレイクアウトルームを設けた方がいいのではという意見がありました。それに対し、それぞれの意見をいただき、大枠設けた方がいいのかなという感じがしております。その場合、テーマを2つ用意していますが、1つに絞り、前段で議論と意見交換、後段にブレイクアウトルームを設け、最後にまた戻り総括をするというざっくりした流れですが、そのような方がいいのかなと。テーマを1つにする場合、災害か移住定住かどちらのテーマを取り上げるか意見がある方はいらっしゃいますか。大久保委員は以前、観光協会にいらっしやって、外から来たい魅力の話など、人口増につながるかと思うのですが、御意見をいただければと思います。お願いします。

【大久保委員】テーマを2つで募集していたのですよね。それをどこかの時点で、1つに絞ってしまうのは応募者が疑問や不審と感じてしまうのではないのでしょうか。2つ揚げた以上、2つを何とかやり繰りして最後まで進めるのが筋だと思います。

【杉下会長】募集の際、3つのテーマを掲げてしまっていたのですよね。一応、テーマは予定ということで御案内をしていましたが、その点、事務局の方でお考えがあれば教えてください。

【事務局】ありがとうございます。資料3の2ページ目が広報とツイッター、LINEの周知内容になるのですが、テーマ(予定)は3つで書かせていただきました。その次の3,4ページ目がチラシになるのですが、こちらもテーマ(予定)は3つで書いております。前回の推進会議でこの中から絞るというお話で進めさせていただきました。流れとしては、募集し、抽選、当選の通知の際にテーマを併せてお知らせをするという感じで予定しておりました。

【杉下会長】11月30日が募集締切りで、現在応募が4名なので連絡は取りやすいと思います。推進会議と連動し懇談会の開催を進めているので、今日の会議でテーマを1つに絞ったほうがいいのではないかと。4名の方には、最終的にテーマがどちらになるか分かりませんが、〇〇のテーマに決まりました。後段ではブレイクアウトルームを設け、意見交換をしていただく進行を考えていますと。それでよろしければ、登録はそのまま、もし希望するテーマが違い、今回は不参加に変えたいというのであれば、それは了承すると。人数が足りていないので、例えば再告知が可能ならば、その際にテーマとブレイクアウトルームを設けますという形で事前告知・説明をしてもいいと思います。事務局の方、どうでしょう。

【事務局】会長との事前打合せの際、12月まで応募を延ばそうというお話があったので、テーマとブレイクアウトルームについて会長と調整をさせていただければと思います。

【杉下会長】丁寧さが欠けているとせつかくの良いものがつながらないと思うので、貴重な意見をいただいたと思います。大久保委員ありがとうございます。平本委員、何か御意見とかがあればお願いいたします。

【平本委員】2つでいいと思います。災害も、2年ぐらい前に大雨があり多くの方が避難したこともありますし、住みたくなる町についても話し合っていたきたいと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。参加人数によっては1つに絞らなくてもいいかも知れません。山下委員、何か御意見はございますか。

【山下委員】両方とも捨て難いと思います。住みたくなると思うようなところに興味があります。災害についても、たくさん問題を抱えていると思うので、両方触れていただきたいです。

【杉下会長】ありがとうございます。関心が高いトップ2のテーマになるので、ブレイクアウトルームの中で包括的にできるのかなと思うので、そのようなものも全体の進行で考えたいと思います。相田委員、何か御意見とかがありましたらお願いいたします。

【相田委員】平本委員と同じですが、災害があれば道路も冠水したりします。住みよい町寒川について、生まれてこの方寒川に住んでいますが、悪いとは思わず、良いと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。落合副会長、何か御意見があればお願いいたします。

【落合副会長】テーマに関して、Zoomの流れがあると思います。幅広い意見があれば、Zoomらしい方向性を決めない、ある程度幅を持たせて町長と話せる機会なので、その機会があるということが一番大事だと思います。あとは、杉下会長の手腕にかかっているかと思います。よろしくお願いします

【杉下会長】ありがとうございます。高崎委員も何か、御意見があればお願いいたします。

【高崎委員】どちらの話があってもいいかなと思います。私は子供がいるので、災害の方が町としては一番考えなければいけないところかなという部分があります。ですが、どうすれば寒川を来たい町に出来るのかということも興味があるので、臨機応変に対応していただければと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。両方とも捨てがたいテーマというのは、うれしい悲鳴ですね。多岐にわたって関心があるということなのですが、各委員さん、補足や御意見があればお願いいたします。大丈夫ですかね。一回整理をさせていただくと、流れとしては、テーマを一つに絞り、前段で全員で意見、後段でブレイクアウトルームを設けるという大きな枠組みで、テーマについては「住みたくなる町寒川について」が多岐にわたって話せると。全体の進行は私が行いますが、ブレイクアウトルームを設けた際、各委員さんにファシリテーターをお願いするかもしれません。その際、冒頭で「災害に強い町ということも安心材料ですよ」と前振りをいたします。議論の仕方もいろいろ出てくるかと思うので、そのような点を作りこみながら全体の進行表を作ってみます。次回の推進会議は懇談会後になってしまうので、大枠やテーマ設定については事務局と整理させていただきます。ブレイクアウトルームについても最終的

に何人の参加になるのかによって用意する部屋の数があるかと思いますが。当日、御都合のつく方に事前に進行のことを一緒に整理していきたいと思います。今回は実証実験的な形で進めさせていただくので、次回会議でしっかり整理し、反省すべき点は反省し、次年度以降の糧になるようにまとめていく方向性を持っていきたいと思います。事務局どうでしょう。

【事務局】町のZoomアカウントが2つしかないため、技術面も含めて会長と相談させてください。お話しし忘れていたのですが、現在応募されている4名の参加希望者は、いずれも寒川町在住の方なのでどちらのテーマでも話ができると思います。

【杉下会長】本番に向けての調整は正副会長と事務局でさせていただきます。テーマ設定とブレイクアウトルーム設置について、当初の案内から相違が出る場合は、事前に丁寧な説明をしていきたいと思います。ほかに、ございませんか。では、(1)のまちづくり懇談会の案については、ここで締めさせていただきます。続きまして、(2)各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップについて、事務局から御説明をお願いいたします。

(2) 各計画プラン等進捗状況一覧表・いまここマップについて(資料4・5)

【事務局】-資料4・5に沿って説明-

【杉下会長】事務局より説明がありました。これについて何か御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。菊地委員、お願いいたします。

【菊地委員】前回の指摘が反映された資料を作成いただきありがとうございます。このような進捗状況一覧表、あるいはいまここマップのような、政策過程の見える化の取組は非常に重要な取組だと思っております。予算編成過程の見える化と言って、当初予算や概算予算の資料を大量にホームページに載せて「予算編成の見える化をしています」としている自治体もありますが、実際にはほとんどの方は読みません。見える化をしたと言い張っても加工していない資料を載せているだけで、どのようなプロセスから資料が上げられているのかが、全く見えないということがあります。そのような意味で、今回、プロセスの中でどの位置にあるのかを明らかにするのは画期的なやり方だと思います。当然、様々な計画を作るプロセスは一様なものではなく、苦労があるかと思えます。それをマップの星印1から5までの進捗状況に落とし込んでいただければと思います。改めて感謝と言いますか、是非これで進めてみたいということをお願いします。

【杉下会長】ありがとうございます。各委員さんから御意見はございますか。菊地先生から御意見をいただきましたが、事務局はありますか。事務局、お願いします。

【事務局】財政課にいた経験から、予算編成から査定までホームページに掲載している自治体があることは存じておりました。同じ担当を行っていたので、膨大な作業になるとは思っていました。情報をありがとうございます。

【杉下会長】ほかに御意見等はございますか。（２）の方はかなり整理されましたので、運用していく中で改善をしてブラッシュアップしていただくということで、プランといまここマップはこれでスタートしていく方向で整理させていただきたいと思います。（２）に関してはこれで閉じたいと思います。議題は以上なのですが、（１）に戻ってもいいですか。追加募集について、大学等にチラシを配布するのはどうでしょうか。被選挙権も１８歳以上になったということで、学生の意見が対等に入ってくると良いと思います。鎌倉の方でメンバーとして参加した際、在住・在勤・在学のような制限がなく、鎌倉大好き、よく遊びに来ますといった方も、このようなまちだったら遊びに来たいと意見を出されていました。今から条件を外すことは可能なのでしょうか。今、『「高座」のころ。』のテーマで人口増を進めていますよね。そのページを開いた際に、懇談会の募集をもう一度出すのはどうでしょうか。寒川に住みたい、遊んでみたいと関心を持った方がページに飛んでくると思います。今回、寒川町について、町長と話せる貴重な機会なので、参加を募ってもいいと思います。懇談会が終わった後は、『「高座」のころ。』のページに、このような寒川町の魅力が、意見がありました。という報告や結果を載せてもいいと思います。そうすることで、『「高座」のころ。』の取組の枠も広がり、懇談会の見える化になっていくかと思います。本番に向けて、会長、副会長、事務局で整理をし、意見を出していければと思いますし、それを踏まえて、次回会議では検証内容として整理ができればと思います。事務局大丈夫ですか。

【事務局】皆様の貴重な御意見をいただきまして、参加者の枠については会長、副会長を含め検討したいと思います。既にお知らせしている内容となるので、変更する場合は改めて周知する必要がありますかと思えます。町長と直接話せる機会ということが一番に考えているので、広報の周知の仕方も含めて会長と検討していきます。

【杉下会長】ありがとうございます。まず第一弾は直接的に寒川に関わっている人。検証結果によっては、第二弾で条件を外した「寒川が大好きな人」という枠で募集を行うのも一つ検証課題になるかと思えます。課題（１）（２）はこれで終了となります。６番、その他の御説明を事務局お願いいたします。

6 その他

【事務局】その他について、参考資料2を御覧ください。まちづくり推進会議の今後の予定をご説明いたします。来年の2月5日にまちづくり懇談会を実施した後の推進会議は、懇談会の反省点の確認と、町長に提出する報告書の案を検討します。こちらの日程を2月24日の木曜日の午後3時からで調整させていただきたいと考えております。また、集合形式かオンライン形式かについては、そのときの状況もあるかと思いますので、また正副会長とも相談いたしまして通知いたします。御承知おきくださいますようお願いいたします。また、2月の第8回の会議の後に、4月もしくは5月に最後の会議となります第9回の会議がございます。この第9回会議までに、必要に応じて随時書面等での連絡もしながら、皆様に最終的な報告書の確認をしていただきます。そして最後、6月に、正副会長から正副町長に報告書をお渡ししていただきます。これらの報告書につきまして、懇談会と進捗状況一覧表といまここマップ、それぞれ内容をまとめた上で、推進会議会長名で町長宛てに提出いたします。先ほど説明いたしましたとおり、その案を次回の会議で事務局が準備いたしますので、皆様に御検討していただきたいと思っております。参考資料2については以上となりますが、審議会の委員の公募のついてのお話しをさせていただきます。来年1月に町内の各審議会の公募委員の募集をいたします。こちらについては、寒川町審議会等の委員の公募に関する規則に基づき、公募委員の選定基準がございます。その中で、2期続けて同じ審議会の公募委員になりますと、その後2年間は同じ審議会の公募委員に応募ができません。今期の推進会議の任期も、来年6月で一旦終わりますが、7月から次の任期の新しい推進会議が始まります。あらかじめその旨お知らせいたします。その他につきましては、以上になります。ありがとうございます。

【杉下会長】ありがとうございます。今回、2期連続で公募委員をやっている方が3名いらっしゃいます。推進会議の公募委員ががらりと変わってしまうのかなと思います。事務局の御説明に関して、何か御質問とか御確認したいことがあればお願いいたします。よろしいでしょうか。大丈夫ですかね。では、以上で議題とその他の方は終わりましたので、各委員さんから、もしくは事務局からあればお願いいたします。

【事務局】先ほど上山委員が御意見ありの札を挙げていたようなのですが、御意見ありましたらお願いいたします。

【杉下会長】では、上山委員お願いします。

【上山委員】最初参加できていなかったのですが、お話をしていたら申し訳ないのですが、まちづくり懇談会のアンケートについてはもう話し合われましたか。

【杉下会長】議題の中で紹介はしましたが、それに関して意見等はありませんでした。もしあれば、今お話しされて構いませんのでお願いいたします。

【上山委員】アンケートの項目について、少し分かりづらいところがあったので、こうしたらいののかなという意見を述べさせていただきます。まず、問5の「懇談会の時間はいかがでしたか」というところについて、懇談会の時間をもう少し詳しく言ったほうがいいのかなと思います。時間といっても、全体の時間なのか、1人の発言に充てられた時間なのか、それとも町長からの回答する時間なのか。この項目だけだと分かりにくいので、もう少し細かく聞いてあげると優しいと思います。もう1点が、問7の「あなたと町長との対話はいかがでしたか」という項目についてです。まちづくり懇談会で町長と話せるというのが一番大事なところだと思うので、ここはもう少し膨らませて聞いたほうがいいと思いました。具体的には、例えば「町長に伝えたいことは話せましたか」に対して、「はい」、「まあまあ」、「話せました」とか「いいえ、話せませんでした」みたいな感じや、「それに対しての町長からの返答はどうでしたか」という問いに対して、「満足しました」、「説明が足りなかった」「もう少し深く話し合いたかった」という様に、しっかり聞いたほうが次回にもつなげやすいと思いました。

【杉下会長】ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。今回、町長と話せるというところが大事なので。今の御意見を踏まえた形で当日までに修正するという事で大丈夫でしょうか。

【事務局】まだ懇談会まで時間がありますので、アンケートの5と7について、下のところに具体的な意見を書ける自由欄を設けるなど、修正することはできますので、また正副会長とお話しして最終的なアンケートの項目を決めたいと思います。ありがとうございます。

【杉下会長】上山委員、よろしいですか。ほかに、何か御意見、御質問はございますか。まず、平本委員から。次に安江委員にお聞きします。では、平本委員、お願いします。

【平本委員】アンケートについて、懇談会に参加した人にアンケートを送って、後から回収するという形なのではないでしょうか。そこだけお聞きしたいです。

【事務局】e - k a n a g a w a という電子申請システムで、参加された方にアンケートのURLをお送りします。そこから、パソコンで入力・送信していただきます。スマートフォンかパソコンでのZ o o m参加を想定し、このような形にしました。よろしく申し上げます。

	<p>【平本委員】分かりました。</p> <p>【杉下会長】では、安江委員、お願いいたします。</p> <p>【安江委員】最初の「御自身について」のところで、性別が男性と女性しかないので、自由に記載できる欄を作るなどして、ジェンダーを意識したほうが良いと思います。あと、町民区分は、この後範囲を広げられるのであればそこも修正されたほうが良いと思いました。追加で申し訳ないですけれども、よろしくをお願いします。</p> <p>【杉下会長】事務局、お願いします。</p> <p>【事務局】どうもありがとうございます。御指摘は全くおっしゃるとおりでして、性別欄は空欄に修正させていただきます。町民区分のほうは、正副会長と相談した上で、範囲を広げるのであれば、こちらの項目も修正させていただきます。御指摘どうもありがとうございます。</p> <p>【杉下会長】ありがとうございます。安江委員がおっしゃるとおり、時代に合ったアンケートの取り方をしないと、町の姿勢とか、言われかねないと思いますので、大変貴重な意見だったと思います。ほかに御意見、御質問等、また確認漏れがあればと思うのですが、よろしいでしょうか。では、議題及びその他が終わりましたので、進行のほうを事務局に戻させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>【事務局】皆様、長時間にわたり御議論いただきましてありがとうございます。特に御質問などないようでしたら、これをもちまして第7期第7回まちづくり推進会議を閉会とさせていただきます。皆様、お疲れさまでした。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 まちづくり懇談会の前段のテーマ説明資料の要点</p> <p>資料2 第24回まちづくり懇談会アンケート（案）</p> <p>資料3 まちづくり懇談会スケジュール（案）</p> <p>資料4 各計画プラン等進捗状況一覧表（案）</p> <p>資料5 （仮称）いまここマップ（例）</p> <p>参考資料1 第7期寒川町まちづくり推進会議委員名簿</p> <p>参考資料2 まちづくり推進会議の今後の予定等</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>杉下委員, 菊地委員（令和3年12月27日確定）</p>